

授 業 概 要

(幼稚園教諭専攻科)

授業科目名 教育実習指導（初等）Ⅱ		授業の種類（ 講義 ・ 演習 ・ 実習 ）	
授業担当者 若杉 諭美	実務経験	私立幼稚園、私立保育園において保育の特性について多岐に学びながら乳幼児の保育や保護者支援等について携わった。	
授業の回数 11 回	時間数（単位数） 20 時間（2 単位）	配当学年・時期 1 年・後期	（ 必修 ・ 選択 ）
[授業の目的・ねらい] 教育実習を通して学んだことの省察を通して、教員として必要な自己課題を明確にするとともに、その課題解決のための学習意欲を高めることを目的とする。			
[授業全体の内容の概要] 教育実習の省察を中心に他者との学びの成果を共有する中で学びを深め、自己課題の改善に向けた取り組みに繋げる。			
[授業終了時の達成課題(到達目標)] <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育実習の成果を具体的に他者へ報告することができる。 ・ 教員として必要な自己課題を明確にすることができる。 			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数			
1. 自己課題と照らし合わせて振り返る 2. 幼児教育の実際についての学びを振り返る 3. 子どもや教師の姿から学んだことを振り返る 4. 教育実習でのエピソードをもとに振り返る 5. 実習日誌記入を振り返り課題を整理する 6. 教師の役割・環境を通して行う教育の意義について整理する 7. 教材研究についての学びをディスカッションする 8. 教材研究についての学びをディスカッションする 9. 3 歳児～5 歳児の年齢別の特徴や指導についての学びをディスカッションする 10. 保育者として専門性をより向上するために必要なことについてディスカッションする 11. 試験			
[使用テキスト・参考文献]	幼稚園教諭・保育士のための実習ガイドブック（大学図書出版）		
[単位認定の方法及び基準]	授業態度 50% 試験 50% 総合点 100%		

授 業 概 要

(幼稚園教諭専攻科)

授業科目名 保育・教職実践演習		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	
授業担当者 若杉 諭美	実務経験	私立幼稚園、私立保育園において保育の特性について多岐に学びながら乳幼児の保育や保護者支援等について携わった。	
授業の回数 11回	時間数(単位数) 20時間(2単位)	配当学年・時期 1年・後期	(必修 ・ 選択)
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>これまでの専門的な科目履修や実習等を通して習得してきた知識・技能を点検・確認し、不足している部分を向上するとともに、教育や保育の現場で働く知識や技術を身に付けて行くことを目的とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>保育実践上の課題や子どもや子育てに関わる環境上の諸問題について、主体的に調べ考察しながら地域との連携について理解していく。</p> <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者としての資質について理解し、自分自身の実践力を理解するとともに、改善・向上に向けた取り組みができる。 ・ 地域との連携を考えた保育実践について理解することができる。 			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在の保育問題について子ども・保育に関わる新聞記事から自分の考えを述べる。 2. 現在の保育問題(少子化、保育制度、子育て支援、幼少連携等)についてテーマごとに研究 3. 現在の保育問題(少子化、保育制度、子育て支援、幼少連携等)についてテーマごとにグループ討議、まとめ 4. 現在の保育問題(少子化、保育制度、子育て支援、幼少連携等)についてグループごとに研究発表 5. 行事における教材研究①実習での反省を生かし、行事の際に使える教材の研究 6. 行事における教材研究②作成した教材の実演 7. 行事における教材研究③子どもとともに作る教材や行事における装飾等の研究 8. 総合的な実践ロールプレイ①子どもの対応について 9. 総合的な実践ロールプレイ②保護者対応について 10. 自分の長所短所を考え、保育者としてどのようにしていったらよいか自己課題を考える 11. スクリーニング終了試験 			
[使用テキスト・参考文献]	保育・教職実践演習(大学図書出版)		
[単位認定の方法及び基準]	授業中のグループワークや制作など、授業への参加状況：総合の 50% 試験：総合の50% 総合点：100%		